

大阪府阪南市 お茶とアマモから始まるカーボンニュートラル！「はんなんC o ーベネフィット」創出プロジェクト & シティプロモーションによる交流・関係人口の拡大、移住・定住促進

背景・現状と課題

- ✓大阪都市近郊にありながら、山と海が近く、浅瀬や干潟等の豊かな自然が残されたまち。
- ✓高度経済成長期以降に開発された住宅地で人口が増加。今後急速に少子・高齢化が進む。
- 【令和4年3月末時点】人口51,943人、高齢化率33.9%
- ▶ **持続可能な地域社会を形成していくためには、地域資源を活かした経済循環が必要。**



事業の目的

カーボンニュートラルを起点とした**自然（里山・里海）と人が共生する持続可能なまちの実現**
 交流・関係人口の拡大・創出、移住・定住の促進

自治体SDGsモデル事業取組概要

**お茶とアマモから始まるカーボンニュートラル！
「はんなん・Co-ベネフィット」創出プロジェクト**



これまでの取組

- ✓環境省ローカルSDGs（地域循環共生圏）実践地域等に登録
- ✓ブルーカーボンオフセット事業
- ▶ **2022年度SDGs未来都市・自治体SDGsモデル事業に選定**
- ✓テレワークステーション整備
- ✓移住・定住WEBサイト、相談窓口設置

プロジェクトの推進

SDGs 未来都市
推進事業

シティプロモーションによる
交流・関係人口の拡大・創出

移住・定住推進事業

(1) 陸と海からカーボンニュートラルを実現

- ①遊休農地をお茶畑に転換しグリーンカーボンを推進
- ②アマモ場（漁場）再生によるブルーカーボンの推進
- ③環境教育推進の拠点整備

(2) Co-ベネフィット創出により、新たな消費や交流人口を拡大

- ①お茶の栽培や漁場の再生にあわせ新たな地域ブランドを確立
- ②陸や海で体験型コト消費の機会を拡大し阪南ファンを拡大
- ③普及啓発の推進プラットフォームの構築

(3) 阪南に集まる人々のゆとりのある時間（生活）を創出

- ①「お茶のある暮らし」をキーワードにした市民の健康づくりを推進
- ②漁場の再生や体験型コト消費の拡大等を通じた新たな雇用の創出
- ③ゆとりある時間（生活）の実現に向けた、テレワークステーション、サテライトオフィスなどサードプレイスの整備

共創

企業に求めるもの

- ✓企業版ふるさと納税（人材派遣型含む）による支援
- ✓(仮称)はんなんCo-ベネフィット創出協議会への加入、共創
- ✓テレワークステーション・サテライトオフィスの利用
- ✓地元企業・市民との交流・連携
- ✓大阪・関西万博 TEAM EXPO2025での共創

企業のメリット

- 効果1 自治体での幅広い業務経験による社員の**人材育成**
- 効果2 地域資源などを活かした**新規事業の展開等**
- 効果3 **SDGs・社会貢献企業としてのPR**
(市長贈呈式、HPや広報誌、インターネットTVの阪南TVで紹介)
- 効果4 里山・里海にふれあう**多様な働き方の推進**
- 効果5 企業版ふるさと納税を活用した事業で**税負担が軽減**